

教科名	理科
-----	----

課題分析	授業改善策	改善状況
<p>&lt; 1 学年 &gt;</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> 身近な動植物の存在や科学的な事象について、教科とのつながりを意識できる生徒が多い。</p> <p><b>【科学的な思考・表現】</b> 動植物の共通点や相違点、何を基準に分類するかという視点を明確にでき、工夫を凝らした表現ができる。</p> <p><b>【技能】</b> 機器の操作は経験が浅いが、インターネットや書籍などを用いて必要な情報を抽出する技能が身につけている。</p> <p><b>【知識・理解】</b> 観察や情報収集を通して新たな知識を身につけることができたが、それらを活用する場面が限定的である。</p> <p>&lt; 2 学年 &gt;</p> <p><b>【感心・意欲・態度】</b> 発言や実験などが多くさせられていない現状である。学校評価アンケートの授業への取り組みについては5段階中4, 2であった。提出物については90%と高い提出率である。しかし、内容は不十分な生徒が多く、授業や提出物をきちんと提出しようとする生徒が多いが、完成度は低く課題がある。</p> <p><b>【科学的な思考・表現】</b> 第1回定期考査の状況では、平均52.5ポイントであった。技能・知識の評価に比べて低い傾向がある。自分なりの考えを持ち、それを表現する力を付けさせたい。</p> <p><b>【技能】</b> 第1回定期考査の状況では、平均59.9ポイントであった。思考・知識に比べて、2番目に低い傾向がみられた。実験を多くさせられない現状ではあるが、できる実験からしっかり学ばせていく必要がある。</p> <p><b>【知識・理解】</b> 第1回定期考査の状況では、平均63.5ポイントであった。思考・技能の中で一番高い。6割を超えているが、7割には届かない。知識の定着ができていない状況である。</p>	<p>&lt; 1 学年 &gt;</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> 自然事象に対する気付きを一層深めるため、学習内容と社会との関連性を意識できる課題を提示する。</p> <p><b>【科学的な思考・表現】</b> 自らの視点を検証する見通しをもち、仮説を設定する力を養うための工夫を実践する。</p> <p><b>【技能】</b> 実験機器の扱いを習熟させ、より精度の高い実験結果を導くことで、データの関係性を見出すきっかけにする。</p> <p><b>【知識・理解】</b> 他者との意見交換や議論を通して、獲得した知識を再構築し、学んだことを次の課題や日常生活や社会に活用する場面を設定する。</p> <p>&lt; 2 学年 &gt;</p> <p><b>【感心・意欲・態度】</b> 興味・関心を高められるような授業展開をつくることと、授業規律を守らせ、集中して考えられる環境を整えることも大事にしていきたい。</p> <p><b>【科学的な思考・表現】</b> 実験時の「予想」・「考察」をしっかりと考え、書かせる時間をとっていきたい。</p> <p><b>【技能】</b> 実験後のまとめを丁寧に行い、振り返りを大事にさせたい。実験できない実験でも、演示やVTR等を活用し、できるだけ実際にみせる工夫をしていく。</p> <p><b>【知識・理解】</b> 振り返りの小テストを行うことで用語の定着や、新しい知識の理解を図る。</p>	

<p>&lt; 3 学年 &gt;</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b>  感染症対策のために、グループディスカッションが例年より減ってしまい、発言や議論の時間が確保できず、積極的に発言する場を設けられていない。</p> <p><b>【科学的な思考・表現】</b>  「なぜ、そのようになるのか」ということを常に考えさせる時間をするが、出題者の質問からずれたことを答えてしまうことが多い。</p> <p><b>【技能】</b>  自由実験の時間を取り、自ら準備、レポート作成をすることによって、実験の技能を高めるとともに、実験観察の一連の流れをとらえることができた。</p> <p><b>【知識・理解】</b>  観察や情報収集を通して新たな知識を身につけることができたが、それらを活用する場面が限定されている。</p>	<p>&lt; 3 学年 &gt;</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b>  生徒にとって発言しやすい身近な事例を題材に取り上げることで、意欲関心を高めたい。</p> <p><b>【科学的な思考・表現】</b>  慌てて済まそうとするのではなく、その発問の意味をしっかりととらえ、じっくり取り組む時間をとる。</p> <p><b>【技能】</b>  実験が苦手な生徒も進んで実験に取り組めるよう、班員の構成も併せて考えていきたい。</p> <p><b>【知識・理解】</b>  他者との意見交換や議論を通して、獲得した知識を再構築し、学んだことを次の課題や日常生活や社会に活用する場面を設定する。</p>	
--	---	--